

● 7月12日(土) 快晴 武佐岳(1005.7m)

○ 朝4時半に目が覚め。外を見たら天気は良さそうだ。
 ・今日は武佐岳に登ろうと決めて朝の支度と出かける支度をはじめた。周りはまだみんな寝ているので静まりかえっている。5時過ぎに道の駅を飛び出して一路、中標津へ向かって車を走らせた。朝早いので車は全くいない。時速70kmの安全走行。東へ向かうに従って雲が無くなり武佐岳の山並みが青空に浮かんでくっきりと見えてきた。すばらしい！快晴だ！



武佐岳の山並みが

・7時前に中標津の開陽台展望台に着いた。
 雲はすっかり無くなり360度の展望が開け、今日の天気は約束されたようなので、景色を楽しみながらゆっくりと朝食をとった。



開陽台展望台

・町道から林道に入り標識に従って登山口に着いたのが7時半過ぎ。すでに車が1台止まっている。(ところがこの車の持ち主とは山で出会うことが無かった。どこへ行ったのだろうか?)



登山口駐車スペース

・7時50分出発。北海道の山らしく、美しいダケカンバ林の中に続く緩斜面で広い草付きの登山道を20分ほど歩くと山小屋が現れた。

憩清荘という無人小屋で、やや古くて小さいが、しっかりした良い小屋で宿泊も可能だ。



美しい登山道



憩清荘という無人小屋

・ここから急坂が始まり尾根に登り着くと三合目。ここから緩斜面の尾根道歩き。ダケカンバやトドマツの林を抜けると気持ちの良い笹原の中を歩き八合目の見晴台に着いた。



気持ちの良い笹原を歩く



八合目見晴台から武佐岳を見る

目の前に大きく姿を現した武佐岳を眺めながら一休み。山頂まではあと一息だ。

・9時ちょっと前に山頂に着いた。
これはすばらしい、まさに道東の展望台だ！ 遮るものがない360度の展望が広がる。南西方向の摩周、阿寒方面は雲があって山並みの頭だけが雲の上に突き出て見える。北西には斜里岳が目の前に聳え、そこから東の方へ別海岳、遠音別岳、知西別岳から羅臼岳へと雲に絡まりながら続く知床連峰の雄大な山並みが望めた。



北西に斜里岳が



知床連山が続く



眼下に根釧原野と野付湾

・南に目をやれば、眼下に防風林がパッチワークのように美しい根釧原野が、そして長く海に延びている野付半島と野付湾がすぐ下に見えた。

・特に今日は東の方の見晴らしがすばらしく、北方領土の国後島が目の前にくっきりと鎮座し、一番北の端にある最高峰の爺爺岳（ちゃちゃだけ・1822m）まで見る事ができた。



遠く国後島の爺爺岳も見えた

・誰もいない山頂に約 40 分、こんなに素晴らしい展望を一人占め。下るのがなんとなく勿体ない気持ちで 10 時半に山頂を後にした。下る途中で 3 パーティー (1+1+3) とすれ違った。最高の景色を楽しめることだろう。



武佐岳の山頂を一人占め

・12 時前に登山口に到着。今朝朝食をとった開陽台展望台にまた行って昼食をとった。ここも「展望台」というだけあってすばらしい眺め。真夏の日差しが暑い吹く風は涼しくて気持ちが良い。土曜日で快晴とあって駐車場は車でいっぱい。

・さてこれからどうしようか。とりあえず温泉のある道の駅「パパスランドさつつる」を目指すことにした。ここなら斜里岳も摩周岳も近く都合が良い。道道 150 号線を養老牛で県道 1115 号線に入り北上する。この道は摩周湖の裏側を通るが、途中に「摩周湖の裏側展望台」という標識があったので入ってみた。数キロ走ると摩周湖の湖岸に出て「裏側展望台」なるものがあった。摩周湖を初めて裏側から拝見させてもらった。眼下にカムイシュ島と摩周湖がくっきりと見えるが、上には今にも降り出しそうな黒い雲が覆っていて、すぐ横にある摩周岳(カムイヌプリ)をはじめ周囲の山は雲の中に隠れて見えない。ビジターセンターのおばさんに聞いたら「今日は一日中霧がかかっている何も見えなかったが、いまやっと霧が晴れて見え出した」とのこと。良い時に来たな、ラッキー！



裏摩周展望台



摩周湖の裏側からの眺め

・道の駅「パパスランド」に 3 時過ぎに到着した。すっかりリニューアルされていていままでの面影がない。立派なものになっていて驚いた。千歳といい摩周温泉といいこのパパスランドといい、道の駅のリニューアルがさかに行われている。温泉はカウンターが立派になったが受付のおばさんも温泉も以前と変わっておらず、ゆっくりと温泉に浸かって今日の疲れを癒した。



道の駅「パパスランド」

・あした天気良かったらどこの山に登ろうかな、などと考えながら夕食をとった。

そのうちパラパラと雨が降り出し気温もぐんぐん下がって寒くなってきたので、長袖を 2 枚羽織っての食事となった。

・今日の武佐岳は快晴ですばらしい景色を楽しんだ。清里峠を越えて北に来たら天気が悪くなり、雲が多く寒い。いつもなら背後に斜里岳が大きく聳えて見えるのだが、今はすっぽりと雲におおわれていて見えない。一瞬だが雲の切れ間から太陽の陽が射して斜里岳を覆っている雲が赤く染まった。美しい！

明日は天気になるかな、と期待しながら眠りに着いた。